■米国：オバマ大統領、風力プロジェクトにおける中国企業の参入を認めず

2012年10月1日付の報道によると、オバマ大統領はオレゴン州で開発が計画されている4つの小規模風力プロジェクトについて、風力開発事業者である Ralls Corporation の参入を禁止する命令を下した。大統領が命令を下した理由は、同社が中国人所有の企業であり、軍事施設が近くにある同プロジェクトに外国企業を参入させた場合、国の安全が脅かされる危険性があるためとしている。今回の大統領令により、同社はプロジェクトへの既投資分を売却しなければならないが、同社の弁護士は「米国の安全を脅かすものではない。また、今回の大統領の命令は越権行為であり無効である」と主張しており、裁判所に訴える姿勢を見せている。報道によると、今回のように大統領自身が国防の観点から外国企業の参入を禁止する命令を下したのは、1990年（当時、ブッシュ大統領）以来2回目である。